

## R5年度 四国中央市指定管理業務 事業評価表

### 1. 評価対象施設

公の施設の名称	四国中央市土居総合体育館等
施設所管課	教育委員会教育管理部 文化・スポーツ振興課
指定管理者名	コナミスポーツ・四国ダイケングループ 代表企業:株式会社コナミスポーツクラブ
指定期間	R4年 4月 1日 ~ R9年 3月 31日
	2年目

### 2. 評価表

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
① サ ー ビ ス の 履 行 の 確 認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し計画的に研修等を実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	B	B
	法令順守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じている。	A	A
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
《①の総括》		B	B	
指定管理者の自己評価	モニタリング(定例会)の機会を効率的に活用し、施設の不備等の情報を毎月共有することが出来ました。			
施設所管課の評価	R5年5月よりコロナ医療分類が5類へ移行し、施設利用者数が回復傾向であります が、コロナ禍以前までの回復にはもう少し時間が必要で、施設のなお一層の活用を期待 します。また、協定書に基づいた施設運営は、問題なく遂行していると評価します。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
② サ ー ビ ス の 質 の 評 価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に添った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	地域住民等との連携	地域や地域住民との連携を深め、協働による事業展開がされている	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情対応等	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	A
	管理目標	設定目標に対する結果は妥当である。	B	B
		設定目標に対する取組は適切である。	B	B
《②の総括》		B	B	
指定管理者の自己評価	利用者アンケートのデータを施設運営に活用するサイクルが出来ている。			
施設所管課の評価	施設サービス提供について問題なく遂行できていると評価しております。利用者に対しても、丁寧な対応ができており、また些細なことでも市に連絡があり、任せておける安心感があります。今後も地域の中心施設として、賑わいのある施設となるよう取り組んで頂きたい。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	《③の総括》		B	B
	指定管理者の自己評価	今年度は昨年同様に光熱費の高騰が課題となりましたが、貴市より光熱費の単価増加分を指定管理料にて増額を受領し、企業としての役割を果たせる事となりました。		
	施設所管課の評価	経理面でも問題なく運営できており、評価します。R5年度はエネルギーコストの上昇に伴い、収支面では苦しい状況が続いていましたが、会員数を増加させるなど収入を増やし、経営努力が伺える。		
総合評価		①②③を合わせた総合評価	B	B
所見（成果・課題等）		<p>今年度は、コロナの扱いが5類に変更となり、会員数・施設利用者・その他売上が微増ではあるものの増加致しました。この傾向を続けることで高騰した光熱費の増額分を吸収できるよう取り組みます。</p> <p>アリーナ土居は、地域住民の交流・健康増進拠点としての重要な役割を果たしている。コロナ禍で減少した会員数の全面回復に向けて、今後も教室やイベントなどの充実を図り、地域の身近な交流施設として寄与して頂きたい。</p>		

#### 各項目の評価基準

区分	項目評価	基準
評価基準	A（優良）	事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ：110%以上
	B（良好）	ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ：90%以上～110%未満
	C（一部良好でない）	一部を除き、事業計画どおりである 一部を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ：70%以上～90%未満
	D（良好でない）	事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ：70%未満
総括	A（優良）	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B（良好）	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C（一部良好でない）	評価基準がすべてC以上である
	D（良好でない）	評価基準にDが含まれている
総合評価	A（優良）	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B（良好）	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C（一部良好でない）	評価基準がすべてC以上である
	D（良好でない）	評価基準にDが含まれている